

岩手県 軽米町議会

議会だより

かるまい

No. 242

令和7年7月23日発行



主な内容

📁 特集【若者定住促進住宅】

若者定住エリアの活用策を検討

2
4
7
14
16

📁 6月定例会 6月定例会の概要

📁 6月定例会 一般質問に6人登壇

📁 常任委員会の委員等の選任

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」

今回の表紙は

ピヨピヨ広場

6月27日、宇漢米館「ピヨピヨ広場」で赤ちゃんの歯磨き教室が開催されました。お母さんと一緒に親子4組は、町の歯科衛生士の指導のもと、実践しながら楽しく歯磨きの仕方を学ぶことができました。子供も歯ブラシを持ち、自ら歯磨きをする姿が見られました。

若者定住エリアの活用策を検討



6月(第16回)定例会は、6月2日から11日までの10日間の会期で開かれました。招集日に行われた政務報告で山本町長は「萩田地区に若者の移住定住に向けた住宅を整備するとともに、新たに遊休地について若者定住エリア活用策の検討を進める」と述べました。6月5日と6日には、一般質問が行われ6人の議員が登壇

(質問内容は7ページから13ページまで)。町長提案のあった監査委員の選任は全員賛成で同意。一般・特別会計補正予算を含む議案8件は、特別委員会(田村せつ委員長)で審議した後、全会一致で可決しました。本定例会では、特に若者定住団地構想に注目が集まり、議論が集中しました。



役場周辺遊休地の調査へ



令和7年度一般会計 補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ3千611万5千円を追加し、総額7億611万5千円とするものです。補正内容として注目されるのが、若者定住団地基本構想策定業務委託料1千430万円、若者定住団地用地購入

入費925万円です。若者定住促進住宅については、町議会から人口減少対策の提言として強く要望しており、7年度は萩田地区の旧青少年ホームの跡地を利用するための、基本構想策定、現地調査調査測量、土地造成工事を行う計画です。また、新たに役場周

辺の遊休地である町有地と合わせて県有地を購入して、一体的に活用策の調査業務を進めるものです。この事業は、昨年発足した若者定住促進プロジェクト会議や若者会議などの意見を反映させたものです。

若者定住促進プロジェクト会議とは

議長に政策推進課長、副議長に地域整備課長メンバーは各課係長を中心に13人で構成されています。昨年7月に第1回会議を開催し、以後2回の会議を実施しています。主に、定住促進関連施策の情報共有や住宅施策の方向性の協議、先進事例等の意見交換を進めています。



萩田地区の旧青少年ホーム跡地に若者定住住宅を整備予定

県有地を取得し 新たな住宅構想

仕事の選択肢、住居の意見多数

若者会議は2月に開催され、軽米高校生7人を含む22人が参加しました。町外から移住するためには「やりたい仕事、

労働条件など選択肢がある」「住宅・アパートがある」「生活コストがかからない」「専門学校や大学がある」ことなどがあげられました。

町内の人が住み続けるためには、仕事、住居のほか「職場や学校などが町外でも通うほうが安いこと」などの意見が出されています。



若者定住促進プロジェクト会議を中心に

若者定住促進プロジェクト会議は、住宅施策(賃貸住宅建設分譲)の方向性等の協議と、プロジェクトを中心に、移住定住につ

ながる各種支援策も議論し、若者の移住定住、少子高齢化、人口減少対策などの諸課題への対応を進めていくこととなっています。

戸建て住宅を

令和6年の町民意識調査では、若者が移住に求める住居環境は、一戸建て賃貸住宅を望む人が、最も多い結果となっています。

若者会議とは

若者の感性や発想をまちづくりに反映させることを目的とした委員会です。総合発展計画策定に若者の意見を取り込むため、令和2年9月に設立されました。

構成メンバーは、おおむね18歳から45歳までの町民、または町出身者で、まちづくりに意欲がある方、20人以上。任期は2年間です。

企業版ふるさと納税基金活用

役場周辺の遊休地となっている町有地は、軽米高校寄宿舎跡地のほか、旧町営新町・下新町住宅跡地です。これら町有地に隣接する県有地2か所(約

940平米)を購入し、一体的に定住団地の基本構想を策定します。3月定例会で議決した企業版ふるさと納税基金を活用しての事業となります。

ぎかいの視点

議会も強く支援したい

若者定住促進住宅は、人口減少・少子化対策調査特別委員会で決議したほか、これまでも複数の議員が一般質問で政策提言してきました。今年から、一気に移住定住施策として、特に若者定住促進プロジェクトや若者会議(高校生を含む)などの意見をもとに進めようとしています。議会として大変喜ばしいことであり、強く支援していきたいです。

全議案とも全会一致 一般会計 3,612 万の増額

6月2日開会した6月定例会は、西山隆介監査委員の後任として、日山充氏の監査委員の選任に全員賛成で同意。追加提案4件を含む全議案8件については、特別委員会で慎重審議し、全議案とも全会一致で可決しました。

帯状疱疹予防接種に 616万円(新規事業)



対象となる
65歳以上
760名



令和7年度から65歳以上の方などへの帯状疱疹ワクチンの予防接種が予防接種法に基づく定期接種の対象となりました。

一般会計補正予算の主な歳出予算は、高齢者帯状疱疹予防接種委託料616万円、健康ふれあいセンター修繕料83万円、若者定住団地関連予算(前述)、消防団員自動車運転免許取得事業補助金100万円、旧笹渡小中学校貯水槽修繕料

70万円、軽米中学校音楽室スポーツクーラーリース使用料69万円、宇漢米館イベント関連420万円の歳出科目替えのほか、二戸地区広域行政事務組合負担金などで、総額3千611万5千円を補正するものです。

高齢者帯状疱疹予防接種

○年齢別対象者	
65歳	130名
70歳	140名
75歳	173名
80歳	80名
85歳	97名
90歳	75名
95歳	45名
100歳	11名
101歳以上	11名
計	760名

定期接種の対象者は、65歳になる方ですが、今後5年間の経過措置で、その年度内に70歳から5歳ごとの方も対象です。

町の年齢別対象者は別表のとおり、合計760名です。

特別委員会 Q&A

- 問 小学校費の修繕場所はどこですか。
答 旧笹渡小中学校の貯水槽を直します。
- 問 中学校費の冷暖房機は。
答 軽米中学校のスポーツクーラーのリース料です。
- 問 郵便局への事務委託が6月9日からスタートしたが、今後の見通しは。
答 委託の事務事業がスムーズに引き継がれ、住民サービスが低下しないように注視していきます。マイナンバーカード申請手続き等も検討を進めていきます。



地域住民の暮らしがより良いものになるよう、民間との連携も進めてまいります。(6月9日に行われた軽米町・日本郵便「包括受託事務」取扱開始式の様子)

無線施設の請負契約

情報通信施設放送設備更新の第2期工事の請負契約の締結に全会一致で可決しました。

1千198万円で、請負者は、盛岡市の北日本通信(代表取締役社長石月一志)、完成予定日は、令和8年2月27日です。

第6分団第3部へ 小型ポンプ車



消防団活動に供するための小型動力ポンプ付積載車取得に全員賛成し、可決しました。

取得価格は、1千551万円で、盛岡市の(株)ダイトク(代表取締役社長竹下博)からの買入れです。

給食配送車買入れ

小中学校の給食配送車(2t、保冷仕様)取得に全員賛成で可決しました。



小中学校へ給食を届ける配送車

取得金額は、961万円で、当町の高常自動車工業(代表取締役高橋啓介)からの買入れです。

- 問 小学校スクー ルガード「見守り隊」の活動状況は。
答 スクールガードは軽米小12人、小軽米小3人、晴山小2人の計17人おり、通学路等で児童の登下校を見守ってくださいています。無償ボランティアアですが、傷害保険へ加入し、活動用ベスト、帽子を配布しています。年度初めに各小学校で紹介式を開催しています。

となります。これまででは5tまで運転可能でした。

法改正により、平成29年3月11日以前に普通免許を取得した方は、5t未満まで運転できますが、3月12日以降に普通免許を取得した方は、

は、3.5t以上のポンプ自動車運転できません。

そのため、将来的に消防団活動に支障が生じる恐れがあるため、消防団員の準中型自動車免許の取得費用を補助するものです。



消防団活動継続のため、また若い世代へ受け継ぐために必要不可欠な助成となるでしょう。(消防演習の様子)

監査委員の選任に同意

任期：令和7年6月23日～令和11年6月22日



ひやまみつる 日山 充氏

(略歴) 昭和54年 軽米町役場入庁

産業課勤務を経て農林水産省畜産局へ2年間出向し、企画財政課、総務課、産業振興課等を経て、産業振興課長、総務課長を歴任

平成29年 軽米町役場退職

「監査」とは、財務に関する事務について、法律に違反していないかや効率的に行われているか、住民の福祉の増進のために最小限の経費で最大の成果を挙げるよう努めているかを確認します。

一般質問

一般質問とは
 ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
 ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
 ・質問者の順番は通告した順番で行われます
 ・時間の制限は60分です



町議会では、昨年12月定例会から、これまでの一括質問一括答弁方式と、新たに一問一答方式を希望により選択できるよう試行導入しています。質問方式の違いについて紹介します。(制限時間はどちらも60分)

- 一括質問一括答弁方式** 議員が質問をすべて一括して質問し、その後、町長らとその質問について一括して答弁を行います。質問回数は再々質問までです。
- 一問一答方式** 一つの質問事項を質問した後、町長等がその質問事項について答弁を行い、その後に次の項目を質問します。全ての質問を一問一答で行います。質問回数は無制限です。



たむら 田村 せつ
一問一答(9ページ)

- 子育て環境の充実について



かみやま 止山 誠
一問一答(8ページ)

- 町の人手不足について



なかむら 中村 正志
一問一答(11ページ)

- 岩手県への損害賠償請求事件の裁判について
- 小中学校の教員住宅の状況について
- 中学校部活動の地域移行について



たなか 田中 祐典
一問一答(10ページ)

- スポーツ推進政策について



えさしか 江刺家 静子
一括質問一括答弁(13ページ)

- 訪問介護事業所への支援について
- 加齢性難聴者の早期発見と補聴器購入助成制度について
- メガソーラーや風力発電の火災や災害の対応について



ちやや 茶屋 隆
一括質問一括答弁(12ページ)

- 商工観光と町の活性化について

あなたは傍聴しましたか？
 かるまいテレビでも放送しています！



町議会HP QRコード



掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

採決結果を紹介

《第16回(6月)定例会、6月2日から11日まで10日間開催》

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	監査委員の選任〔日山充氏=蓮台野、新任〕	同意 (全員賛成)
議案①	医療費給付条例の一部改正 〔岩手県が実施する重度心身障害者医療費助成制度が見直され、対象者に精神障害者が加えられたことに伴い、本町においてもこれに準じ所要の改正を行うもの〕	可決 (全員賛成)
議案②	令和7年度軽米町一般会計補正予算(第1号) 〔3,611万5千円を増額し、総額71億611万5千円〕	
議案③	令和7年度軽米町水道事業会計補正予算(第1号) 〔資本的支出を2,879万8千円増額し、3億3,189万6千円〕	
議案④	令和7年度軽米町下水道事業会計補正予算(第1号) 〔資本的支出を1,300万1千円増額し、7,180万3千円〕	
議案⑤	情報通信施設放送設備更新工事(第2期)の請負契約の締結に関し議決を求めることについて 〔情報通信施設放送設備更新工事(第2期)の請負契約を締結しようとするもの〕	
議案⑥	財産の取得に関し議決を求めることについて 〔消防団活動に供するため、小型動力ポンプ付積載車を買入れしようとするもの〕	
議案⑦	財産の取得に関し議決を求めることについて 〔小中学校へ給食を配送するため、配送車両を買入れしようとするもの〕	
議案⑧	令和7年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 〔244万7千円を増額し、10億2,819万9千円〕	

《第15回臨時会、5月12日開催》

番号等	案件内容	本会議の採決結果
	常任委員の選任(委員の構成は14、15ページをご覧ください)	選任
	議会運営委員の選任(委員の構成は14、15ページをご覧ください)	
報告①	専決処分事項の報告について 〔公用車による物損事故の損害賠償の額の決定及び和解、損害賠償額1万4,751円〕	
報告②	専決処分事項の報告について 〔公用車による物損事故の損害賠償の額の決定及び和解、損害賠償額23万9,990円〕	
議案①	軽米町税条例の一部を改正する条例の採決処分に関し承認を求めることについて	承認 (全員賛成)
議案②	令和6年度軽米町一般会計補正予算(第10号)の専決処分に関し承認を求めることについて 〔スクールバス購入の繰越明許費の補正〕	
議案③	財産の取得に関し議決を求めることについて 〔軽米町小中学校の児童生徒へ給食を提供するため、真空冷却機・蒸気ボイラーを買入れしようとするもの〕	可決 (全員賛成)



たむら 田村 せつ

子育て環境の充実

問 屋内型の遊び場
その後の検討は

町長 引き続き調査検討を進めていく

【問】 屋内型の遊び場についてその後、どのように検討されたのか。
【町長】 現在も継続して調査検討を進めている。子どもの遊び場の整備については、年間を通じて利用できる施設を念頭に置き、維持管理を含めた総合的観点から直営による整備、あるいは官民連携による整備の選択など引き続き調査検討を進めていく。



屋内型遊び場施設は、天候に左右されずいつでも遊ぶことができます。県内にも、屋内型の遊び場施設があります。(写真はイメージ)

【問】 屋内型の遊び場の設置場所は、宇漢米館の周辺を望むか。
【副町長】 町としても、宇漢米館の子育て施設と一体化した利用が望ましいと考えますが、まだ検討段階に入っていない。また、整備する場合は近隣にないような遊び場で、幅広い年代の子どもたちが楽しんでくれる施設にしたいと考えている。

幼児施設の存続

問 幼児施設の統廃合は

町長 現時点で統廃合については検討はしていない

【問】 少子化が進む中、幼児施設の統廃合が心配される。幼児施設の存続について伺う。
【町長】 保育園の統廃合については、現時点では検討していない。しかしながら園児数も毎年減少している。保育士の確保にも苦労している。町としても少子化進行による園児数の減少や保育ニーズの多様化、老朽施設の維持管理費の課題がある中で保育サービスの質の維持・向上を図っていくため、今後の教育・保育施設のあり方として、統廃合について検討していくことは



病後児保育とは、病気からの回復途中の子供を預かる保育サービスのことです。(イラストはイメージ)

避けられないと考えている。
【問】 働く女性を応援するために、病後児保育は必要不可欠と考えるが町としての考えは。
【町長】 病後児保育は運営できれば望ましいが保育士の確保も困難である。今後において、幼児施設の統廃合の問題などもあるため、総合的に考えていく必要がある。

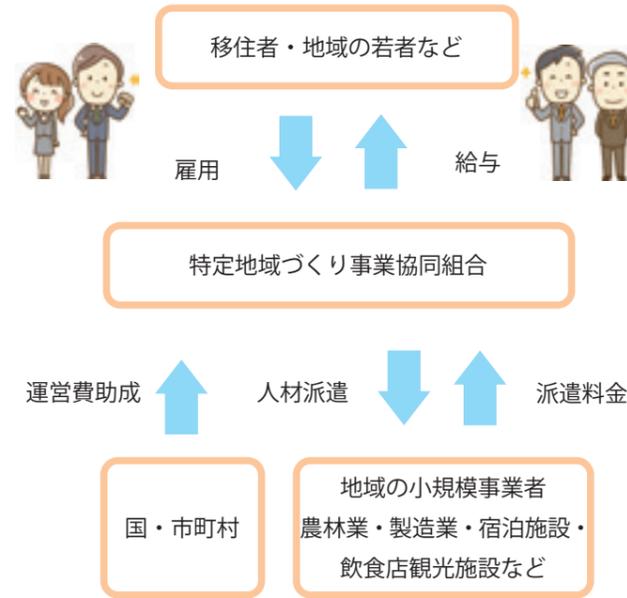


かみやま 上山 誠

特定地域づくり事業協同組合制度

問 町で取り組む考えは

町長 制度の活用を積極的に働きかける段階に至っていない



特定地域づくり事業協同組合制度とは、人口減少が著しい地域にとって、担い手不足を改善するために必要な支援制度です。

【問】 特定地域づくり事業協同組合制度を町で取り組む考えはないか。
【町長】 本制度活用を検討した経緯があるが、課題として、町内の事業者で繁忙期、閑散期を事業者間でうまく調整し一年を通じて仕事を生み出せるか、組合で働くマルチワーカーと組合運営のための事務局職員を確保

保できるかなどが挙げられ、各事業者へ制度の活用を積極的に働きかけるとい段階には至っていない。今後制度を活用したいという団体や事業主からの相談があれば、組合の設立、組合運営に係る財政支援等も含め相談に対応するとともに、引き続き県内外の事例研究、情報収集に努めていく。

町の人手不足について

問 人手不足に対する認識は

町長 農作物生産量の減少に直結する課題



スマート農業機械を導入することにより、労働力不足の改善や生産性向上、コスト削減、安全性の向上など様々な効果が期待されます。(写真はイメージ)

【問】 人手不足に対する町での認識と、これまでの取り組みは。
【町長】 各分野において、担い手不足や人手不足となっていると考えている。農業においては農家戸数の減少、人手不足、経営規模の縮小や離農の増加を招き、耕作放棄地の増加、ひいては本町の農作物生産量の減少に直結する課題と認識し

ている。町の取り組み状況として農業分野では、国庫補助事業や町単独事業の親元就農支援金制度による担い手育成や就農相談会の開催や課題解決の一つとしてスマート農業機械の導入支援による省力化、効率化を進めている。また、町内事業者には、新規求職者等地域雇用促進奨励金制度などの資金面での支援を行っている。



たなか ゆうすけ
田中 祐典

スポーツ推進政策

問 今後のスポーツ推進政策の考えは

教育長 それぞれの目的に合った支援をしていく

【問】学校の統合や人口減少、新型コロナウイルスの影響により、各種大会が縮小開催から中止となった。今後、スポーツ推進政策をどのように進めていくのか考えを伺う。

【教育長】軽米町総合体育大会の各競技や町民体育祭については、地域住民の高齢化や地域の連帯意識の希薄化、さらにニーズの多様化をはじめとする社会環境や個人の価値観の変化などにより開催が困難であるとして、代表者会議において協議し中止とした。集団で行う競技や大会から個人や家族、友人同士など少人数でも参加できる種目への意識の変化や、趣味としての取り組みなど、運動を行う理由、目的が時代と



町民体育祭は平成29年まで開催され、各地区対抗で様々な競技が行われていました。

ともに大きく変化している。今後も、従来の住民が多く集まるイベント的スポーツの開催については、参加者の確保が難しいものがあるのとらえている。今後のスポーツ推進にあたっては個人で行う運動等については活動場所等の提供、競技スポーツの推進については、人材育成と団体運営に係る支援、地域等が行う活動については、企画や経費、用具や周知等の支援を行っていく。

問

地域と学校で連携した行事の開催を

教育長

学校側と協議していただきたい

スポーツを通じた地域活性化

【問】住民が様々な形でスポーツに参加し、活気ある生活を送れる環境づくりが必要だと考える。地域と学校で連携し行事をつくることで地域活性化にもつながるのではないか。

【教育長】各学校には学校運営協議会という組織が発足しており、地域と学校を結びつけるつなぎ役として確立している。その協議会の中で提案していただき、学校側と協議していただきたい。



施設マップがあるので、町内に住んでいる方だけでなく、町外から訪れた方も利用しやすくなります。(町民体育館)

【問】活動場所の提供とのことだが、具体的な施設マップがあればより活発な活動ができると思うがいかがか。

また、用具等の準備も要望に応えながら進めていきたい。



なかむら まさし
中村 正志

中学校部活動の地域移行

問 活動場所への移動手段確保は

教育長 生徒の活動機会確保を保障するための重要な検討項目



部活動を有意義なものにするためにも、町としての支援が必要です。(中総体の様子)

【問】軽米中学校の部活動は任意加入だが、現状は。【教育長】1年が60%、2年が80%、3年が72%で全体では71%。部活動に加入せずに町内外地域クラブ等への参加者は1年が13人、2年3人、3年4人となっている。

【問】岩手県の部活動連絡会支援事業も活用したいと考える。【教育委員会内での担当は。【教育長】部活動を学校教育から地域へ移行する制度のため、生涯学習課を中心に教育総務課と連携して進める。

【問】部活動の地域移行の進捗状況は。【教育長】地域移行協議会の設置はまだであるが、指導者の確保、養成が重要であり、資格取得の支援を進め、

【問】地域移行で活動が夜間や休日を中心となり生徒や親の負担が大きくなり、限られた人だけの活動になりはしないか心配するが。【教育長】先進事例では、週の平日2日、土・日曜はどちらか1日休みとしている。移動手段の確保は、県内でも課題として指摘されており、町では、生徒の活動機会を保障する意味でも重要な検討項目としている。

小中学校の教員住宅

【問】先生の温かい受け入れを

教育長 居住環境等今後検討進める

【問】小中学校の教員住宅の現状と教職員の町内への居住状況は。【教育長】軽米中に1棟のほか7棟あるが、入居はない。教職員の町内居住は51人中8

【問】軽米町が温かく受け入れる体制整備が必要では。【教育長】先生方が希望する居住環境等の考え方を伺いながら、今後、検討を進める。

損害賠償請求事件

【問】裁判の審理状況は

町長 次回は7月29日の予定

【問】岩手県への損害賠償請求事件の審理状況を伺う。【町長】3月の予定が延期され、5月28日に実施。それぞれの主張に対する和解に向けた裁判所の考え方が説明され、和解金額の査定

【問】次回の裁判はいつか。【町長】第15回期日が7月29日とされた。今後は、議員全員協議会等での説明を行い、現状理解に努めたい。



訪問介護事業

問 安心して介護を受けられるよう 事業所に独自の支援を

町長 必要な支援策を検討する



訪問介護の利用者は、身近な環境での生活を維持することができ、心地よさや安心感を得ることができます。(写真はイメージ)

問 訪問介護の基 本報酬引下げに より介護事業所が経営 存続の危機にある。存 続のため町から緊急支 援が必要ではないか。 町長 訪問介護報酬 引下げは、一定の影響 はあるものとして認識 しているが、介護職員 等処遇改善加算と中山 間地域の特定事業所加 算が見直されている。 事業者は丁寧な説明・ 情報提供を行い、加算 を取得できるように支 援したい。 町として独自の支援 策については現時点で は未定である。

加齢性難聴への対策

問 加齢性難聴の 早期発見のた め、町が聴力検診実施 と補聴器購入費用に一 部助成できないか。

町長 聴力低下によ るフレイルの進行も懸 念されるが、町として は国の示す項目を基に

町長 国・県の動向を見て検討

問 聴力診断と補聴器購入補助を



早期発見・早期対応のためにも、迅速な対応が必要です。(イラストはイメージ)

町長 加齢性難聴の した生活習慣病対策を 基本としている。聴力 検査の導入は国や県の 動向を見て検討した い。

町長 高家メガソーラーの火災は小動物が ケーブルをかじり、絶 縁不良で火災となった

再エネ施設での事故の対応

問 町内のメガ ソーラー火災や 風力発電に事故が発生 した場合の町と業者の 対応と施設の町民視察 について伺う。

町長 関係機関と連携し情報収集を適切に

問 再生可能エネルギー施設の安全対策は

町長 可能性がある旨の報告 があり、地域住民には 再発防止策等がまと まった段階で説明する よう指導している。

町長 国・県の規制

問 設置を規制す る条例が必要で はないか。



商工観光の振興

問 商工会の将来的な統合はあるのか

町長 現時点で統合について検討する予定はない

問 商工会の広域 連携による将来 的な事務・事業の見直 し、統合について心配 はないか。

町長 今回の広域連 携は、それぞれの商工 会の体制のまま、共同 で実施できる事務・事 業について連携して実 施することにより、事 業運営を効果的かつ効 率的に推進していくこ とが目的である。その ため、事務・事業を見 直し、統合について検 討する予定は現時点で はないと伺っている。

町として今 後、商工会とど のような方向性で対 応していくのか。

町長 商工会では、 地域経済の発展・町の 活性化のための事業を 実施しており、町では 財政的支援を行っている。また、町内事業者 の経営発達支援事業の 計画・実施状況などに ついても、会議に参加 し情報共有を図ってい る。今後も商工会の組 織弱体化につながるよ うな支援を行うとと

町の活性化について

問

町長 対策の検討が必要では

町長 これまでイベ ント等は商工 各種課題に対応してい きたい。



商工会では毎年、さまざまなイベントを主催し、町を盛り上げています。(夏祭りナニヤドヤラ流し踊り)

もに、商工会との情報 共有をいっそう密に して、状況についても引 き続き注視していく。

常任委員会の委員等を選任 残り2年間で

第15回臨時会が5月12日に開催され、委員会条例により、3常任委員会（総務教育民生、産業建設、議会報編集）及び議会運営委員会の委員の選任を行い、また町政調査会幹事も選任し、人口減少・少子化対策及び議会改革調査特別委員会は、これまで同様、継続して活動します。議員任期も折り返し、残り2年間に全力投球します。

◎委員長 ○副委員長



議会運営委員会

◎中山 誠 ○中村 正志
田中 祐典
江刺家 静子
田村 せつ
細谷地 多門

新しい委員会構成になりましたが、議会運営が円滑に進むように、議案や請願陳情の取り扱いなどを慎重に協議、調整し議会運営を支えていきたいと思っております。（中山委員長）



議会報編集常任委員会

◎中村 正志 ○田村 せつ
田中 祐典 甲斐 鉦康
茶屋 隆
上山 誠

町民と議会とのキャッチボール 議会だより「かるまい」は、3月、6月、9月、12月の議会定例会で協議した内容を分かりやすく編集し、発行するのが、私たちの仕事です。多くの皆さんに読んでもらい、町民と議会とのキャッチボールができればうれしいです。（中村委員長）

総務教育民生常任委員会

総務・教育民生等の事務調査



◎本田 秀一 田中 祐典 江刺家 静子
◎田村 せつ 西館 茶屋 隆

地元で働きたい若者 少子高齢化・人口減少が進む中、地元で働きたいという若者の声も聴いてきました。需要の低迷・人手不足等による売り上げ不振など地域企業を取り巻く環境も厳しさを増しています。地元企業の課題・若者の定住促進・将来に希望が持てる高校教育の在り方など課題解決に向けて提言してまいります。（本田委員長）

産業建設常任委員会

産業建設の事務調査



◎上山 誠 鉦康 大村
◎細谷地 多門 中村 正志 松浦 満雄

住民の意見を政策へ反映 地域の産業振興やインフラ整備に関する地域住民や企業からの意見や要望を収集し、調査研究をし、住民の意見を政策に反映できる委員会活動にしていきたいと思えます。（上山委員長）

町政調査会 幹事会



会長：茶屋 隆 副会長：中村 正志
任期：令和7年5月12日～9年4月30日（2年間）

健全な町政運営に寄与

町政調査会は、町政全般にわたり、調査、研究、協議を行い、町政の健全な運営に寄与するために議員全員で組織しています。幹事会7人以内で、任期は2年間です。

自由な調査・町民交流と研修 正規の会議以外に協議したい場合や議会独自の調査、研究、協議を行う場が「町政調査会」です。今後も任意団体として町民との交流活動や情報交換会への参加、議員研修の企画などを実施し、町政の健全な運営に努力します。（茶屋会長）

人口減少・少子化対策調査

特別委員会 幹事会

町政への積極的な提言を

人口減少・少子化対策調査特別委員会（中村正志委員長）は、前任期に引き続き、令和5年6月定例会で設置し、婚活・子育てや移住・定住施設の強化など、課題解決に向け、調査・研究に努めています。

これまでの若者世代用住宅の建設や町民の意見を取り入れた施設の提言などを積極的に行ってきました。

夫婦の魅力 子育ての喜び 町の人口は、1万人を切ってから減少し続け、7千人台です。出生数もここ5年間では年20人台の状況です。町の独身男女に歯止めをかけ、何とか婚活を奨励したいですね。夫婦の魅力、子育ての喜びを共有していきたいでしょう。（中村委員長）



議会改革調査 特別委員会 幹事会



なり手不足解消への努力

議会改革調査特別委員会（細谷地多門委員長）は、令和5年6月定例会で設置され、議員のなり手不足や若い人たちの政治への参画などを協議してきました。

議員報酬や定数問題、住民との意見交換会、議員の資質向上など、議会が抱える諸課題解決のために、今後も議論を重ねていきます。

年内に結論を 委員会は、これまで紫波町の議会視察、町内の農業、商工会関係団体等との議会の活性化、議員のなり手不足等の意見交換会を開催しました。これまでの意見等を参考にし、年内に向けてまとめ結論を出していきたいと思えます。（細谷地委員長）

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ㊸

おしみず **大清水** あやの **采乃** さん

宮城県仙台市出身 (上新町・20代)

夫・長女の3人家族



つばさ 夫・翼 さん

せな 長女・星那 ちゃん

出産を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
主人が軽米町出身で、将来は軽米町に帰りたいという希望もあり、子供が生まれたタイミングがきっかけでした。

コミュニケーションが活発な町

☞ 軽米町に来る前の印象と来てからの印象は？
人口が少なく、お店も生活に必要な最小限のものをそろえられるかな？くらいの数だったので不安でした。来てみてからは、必要なものはそろえられるし、なにより地域でのコミュニケーションが活発だと思いました。

子育て支援の充実

☞ 身の回りで関心があることは？
子育て支援が充実しているところにとても感心しました。保育料無償化や、遊

軽米に必要なもの

☞ 他市の町村のほうが良いと思う所は？
産婦人科がなく、車を30分以上運転しないといけないという所が大変だなと思いました。もう少し近くにあれば、妊婦さんも楽で安心だろうなと感じます。

軽米町に望むことは？

☞ 今の時代、子育て支援が充実している市町村があるのは、子育てしている方にとってとても素晴らしいことなので、そのアピールがもっとできればいいのかなと思います。自然がたくさんで、のびのびと子育てできそうな町なので、そこがもったいないなあと感じます。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町にいられた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日
発行者
編集

令和7年7月23日発行 (No. 242)
軽米町議会 議長 松浦 満雄
議会報編集常任委員会

〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335

URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長
委員
副委員長

中田 村中
田村 甲斐
田上 山屋
茶

志せつ典康 誠隆
正祐 祐鉦

軽米町議会だよりはこちらから

